

Mega Luffing 250

250tクラスのタワー能力を
従来200tクラスのボディで実現!

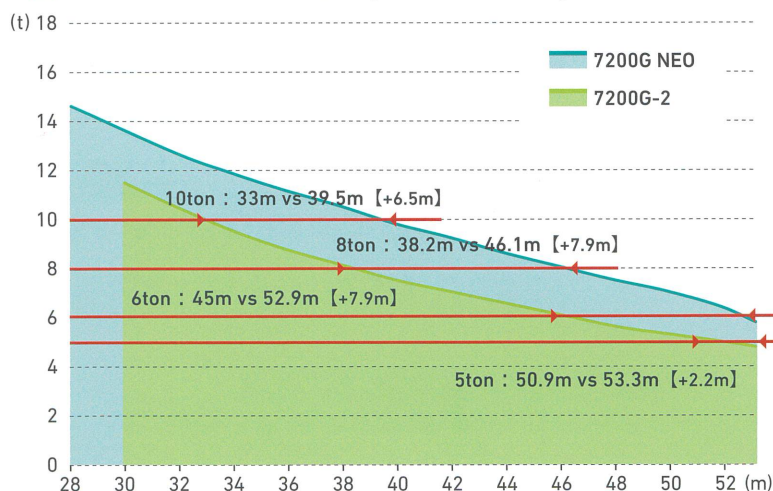
Mega Luffing 250

従来200tクラス同等のコンパクトボディに、
250t級の高剛性ブームを搭載したことで、
最大25%のつり上げ能力アップを実現しました。

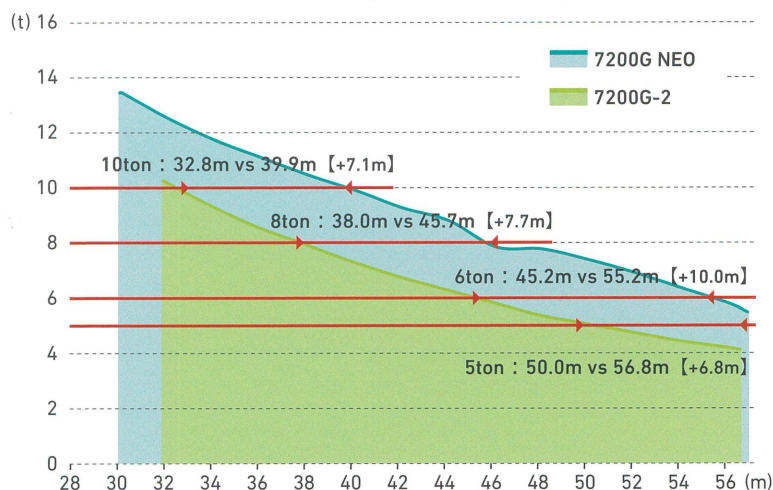
定格荷重による作業半径比較

定格総荷重より、ボールフック及びつり具0.05tを差し引き、80%の安全率を加味し、同じ荷重をつり上げた状態での作業半径を比較しました。

■ タワー48m + ジブ42m (タワー角度80°)



■ タワー51m + ジブ45m (タワー角度80°)

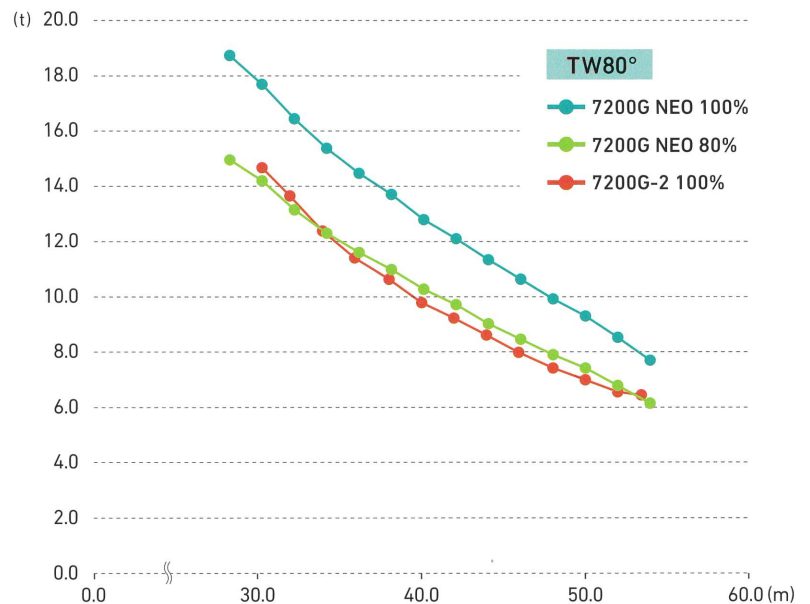


建設現場の安全基準である定格総荷重の80%のつり上げ能力で 従来機7200G-2の100%同等の能力を発揮!

タワー角度80°比較 7200G NEO (80%) vs 7200G-2 (100%) 【最多姿勢:48m+42m】

7200G NEOは全域で7200G-2とほぼ同等の能力を発揮!*

作業半径 (m)	7200G NEO		7200G-2	能力差 ①-②
	TW80°		100% ②	
	100%	80% ①		
28.0				
28.3	18.7	15.0		
30.0	17.6	14.1		
30.3			14.7	
32.0	16.4	13.1	13.6	-0.5
34.0	15.4	12.3	12.4	-0.1
36.0	14.5	11.6	11.4	0.2
38.0	13.7	11.0	10.6	0.4
40.0	12.8	10.2	9.8	0.4
42.0	12.1	9.7	9.2	0.5
44.0	11.3	9.0	8.6	0.4
46.0	10.6	8.5	8.0	0.5
48.0	9.9	7.9	7.4	0.5
50.0	9.3	7.4	7.0	0.4
52.0	8.5	6.8	6.6	0.2
53.0			6.4	
53.3	7.7	6.2		

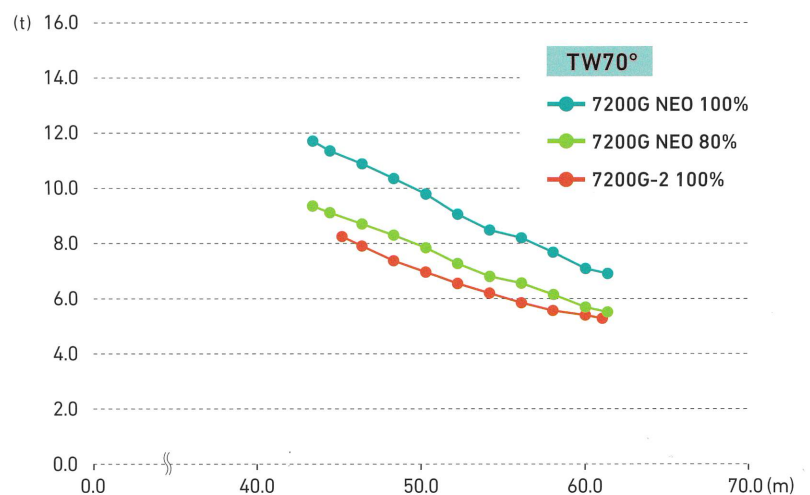


※最小作業半径近くでは7200G-2のつり上げ能力が高くなります。

タワー角度70°比較 7200G NEO (80%) vs 7200G-2 (100%) 【最多姿勢:48m+42m】

7200G NEOは全域で7200G-2のつり上げ能力を凌駕!

作業半径 (m)	7200G NEO		7200G-2	能力差 ①-②
	TW70°		100% ②	
	100%	80% ①		
43.0	11.7	9.4		
44.0	11.4	9.1		
44.8			8.3	
46.0	10.9	8.7	7.9	0.8
48.0	10.4	8.3	7.4	0.9
50.0	9.8	7.8	7.0	0.8
52.0	9.1	7.3	6.6	0.7
54.0	8.5	6.8	6.2	0.6
56.0	8.2	6.6	5.9	0.7
58.0	7.7	6.2	5.6	0.6
60.0	7.1	5.7	5.4	0.3
61.2			5.3	
61.4	6.9	5.5		
62.0				



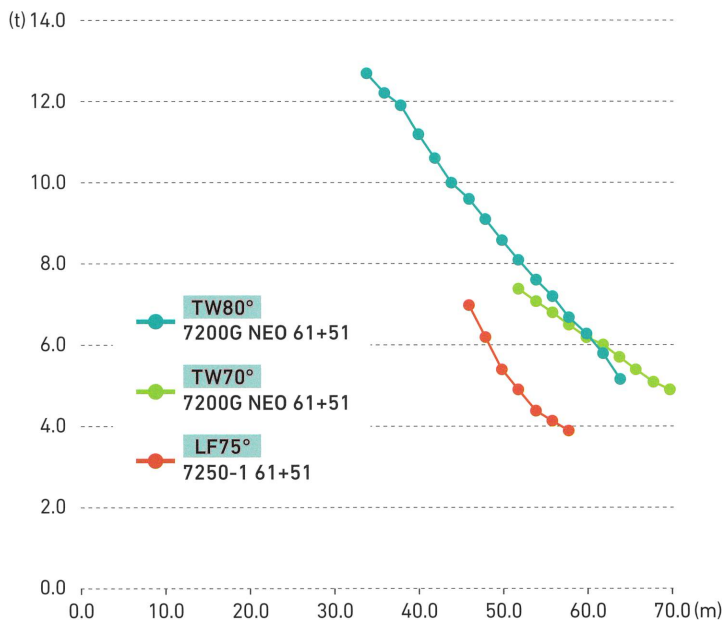
広い作業領域で旧製品250tクラス同等のタワー能力を発揮!

Mega Luffing 250

7200G NEO (TW80°/ TW70°) vs 7250-1 (LF75°) 【最多姿勢:61m+51m】

7200G NEOは全域で7250-1のつり上げ能力を凌駕!

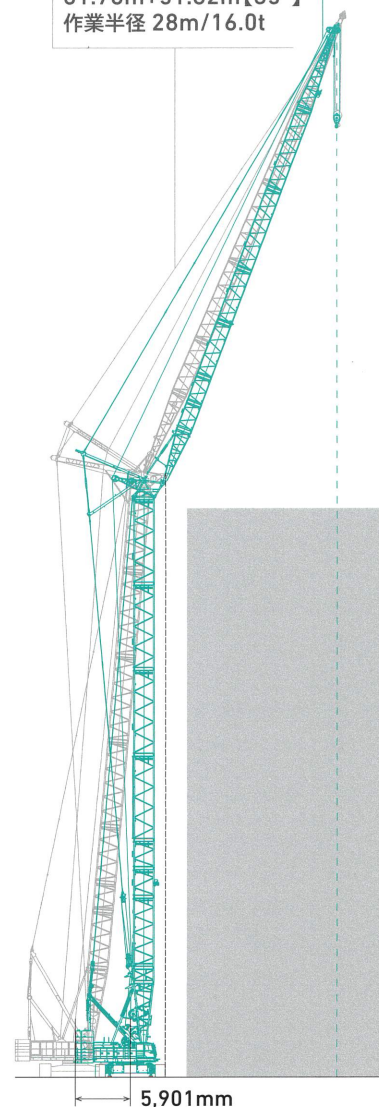
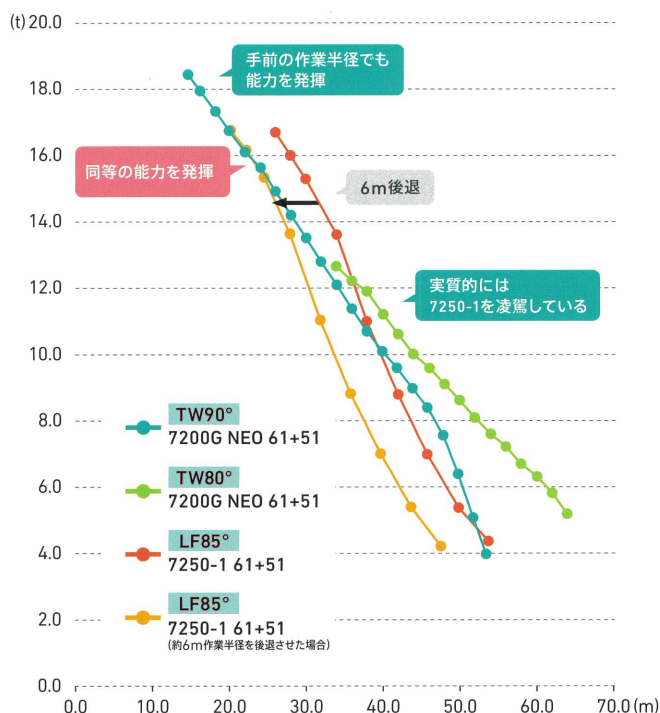
作業半径 (m)	7200G NEO		7250-1	能力差 ①-②
	TW80° ①	TW70° 61+51	LF75° ②	
33.8	12.7			
34.0	12.6			
36.0	12.2			
38.0	11.9			
40.0	11.2			
42.0	10.6			
44.0	10.0			
46.0	9.6		7.0	2.6
48.0	9.1		6.2	2.9
50.0	8.6		5.4	3.2
52.0	8.1	7.4	4.9	3.2
54.0	7.6	7.1	4.4	3.2
56.0	7.2	6.8	4.1	3.1
58.0	6.7	6.5	3.9	2.8
60.0	6.3	6.2		6.3
62.0	5.8	6.0		5.8
64.0	5.2	5.7		5.2
64.2	5.1			5.1
65.0				
66.0		5.4		5.4
68.0		5.1		5.1
68.5				
70.0		4.9		4.9
72.0		4.7		4.7
74.0		4.3		4.3
74.4		4.2		4.2



7200G NEO (TW90°/ TW80°) vs 7250-1 (LF85°) 【最多姿勢:61m+51m】

7200G NEOは全域で7250-1と同等の能力を発揮! ※

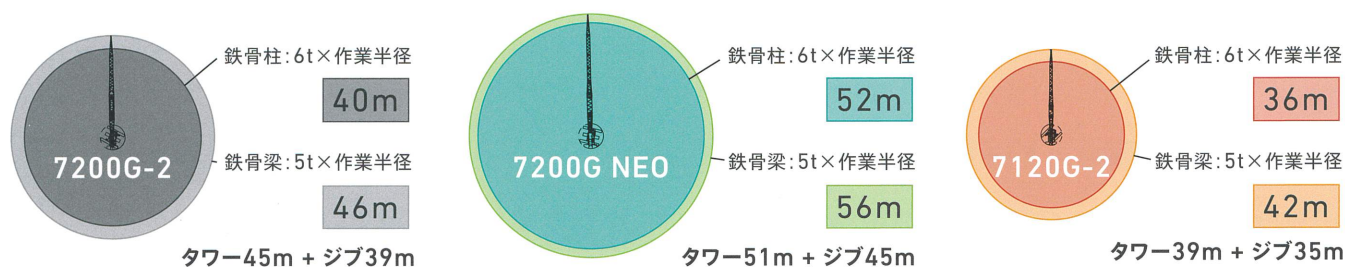
作業半径 (m)	7200G NEO		7250-1	7250-1	能力差 ①-②
	TW90° ①	TW80° 61+51	LF85°	LF85° 61+51 6m後退	
14.6	18.4				
16.0	17.9				
18.0	17.3				
20.0	16.7			16.7	0.0
21.0					
22.0	16.1			16.0	0.1
23.0					
24.0	15.6			15.3	0.3
24.7					
25.0					
26.0	14.9		16.7		
28.0	14.2		16.0	13.6	0.6
29.0					
30.0	13.5		15.3		
31.0					
32.0	12.8			11.0	1.8
33.0					
33.8		12.7			
34.0	12.1	12.6	13.6		
36.0	11.4	12.2		8.8	2.6
37.0					
38.0	10.7	11.9	11.0		
40.0	10.1	11.2		7.0	3.1
41.0					
42.0	9.6	10.6	8.8		
44.0	9.0	10.0		5.4	3.6
45.0					
46.0	8.4	9.6	7.0		
48.0	7.6	9.1		4.4	3.2
49.0					
50.0	6.4	8.6	5.4		
52.0	5.1	8.1			
53.7	4.0				
54.0		7.6	4.4		
55.0					
56.0		7.2			
58.0		6.7			
59.2					
60.0		6.3			
62.0		5.8			
64.0		5.2			
64.2		5.1			
66.0					



※ 7200G NEOは、90°までブームを起こせるため、約6m躯体に近い作業が可能となり、7250-1 (85°) と同等の能力を発揮します。また、手前の作業においても能力を発揮できます。

鉄骨柱(6t)・鉄骨梁(5t)つり上げ時の作業半径比較

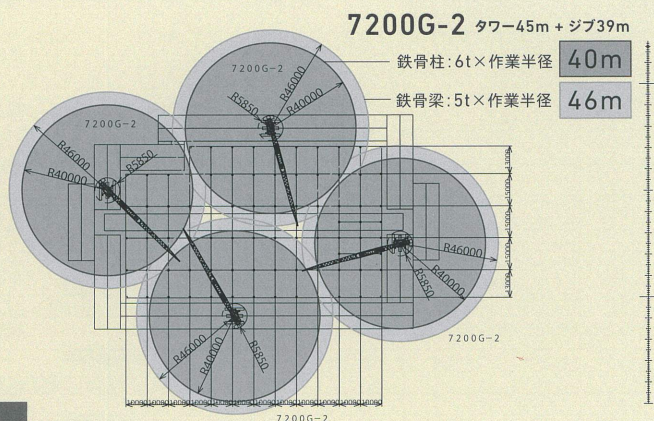
定格総荷重より、ボールフック及びつり具0.05tを差し引き、80%の安全率を掛けて計画しました。※実際の定格総荷重表はスペックカタログをご覧ください。



【施工計画図の比較】

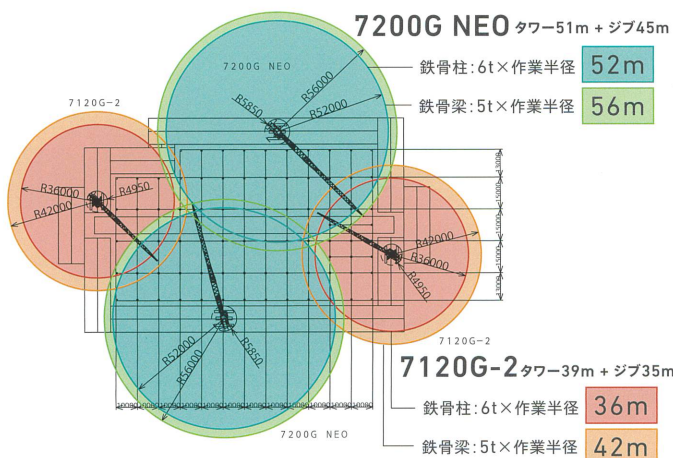
200tクラスの使用を前提に
7200G-2を4台配置した現場を想定

7200G NEO を使えば、さまざまな提案が可能です



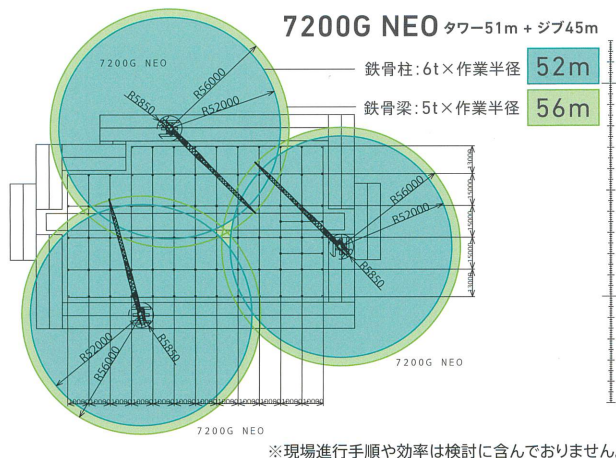
1 7200G NEO 2台 + 7120G-2 2台

7200G NEOの作業半径では、鉄骨柱を1スパン遠くに移動可能。
7200G NEOを2台・7120G-2を2台で提案可能です。



2 7200G NEO 3台

タワー能力が高く作業半径の広い7200G NEO。
7200G NEOを3台でカバーすることが可能です。※



※現場進行手順や効率は検討に含んでおりません。

- つり上げ荷重5t以上の移動式クレーン運転には「移動式クレーン運転士免許証」、クレーン作業には「車両系建設機械(整地ほか)運転技能講習修了証」、基礎工事には「車両系建設機械(基礎用)運転技能講習修了証」がそれぞれ必要です。
- 本カタログで使用される標章「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。「AIS®」、「DPF®」はコベルコ建機株式会社の登録商標です。また、その他、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- 掲載写真・記載内容には一部オプション品が含まれております。

コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社 / 〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 Tel:03-5789-2111

■ クレーンの販売・サービス拠点

北海道 Tel:011-788-2382 / 東北 Tel:0223-24-1482
関東 Tel:045-834-9992 / 北陸 Tel:076-274-1218
東海 Tel:052-603-1205 / 近畿 Tel:06-6414-2103
中四国 Tel:082-810-3880 / 九州 Tel:092-410-3035

■ お問い合わせは…